

こころと命を大切に事業

＝傾聴講座の開催と自主グループの立ち上げ＝

(実施期間) 平成 23 年度～

(基金事業メニュー) 人材育成事業

(実施経費) 平成 24 年度 692 千円
(692 千円)

(実施主体) 岐阜県白川町

【事業の背景・必要性・目的】

白川町は以前から自殺率が高く、特に男性では県下 1 位の時期もあった。常に全国の自殺死亡率より高めに推移し、町の課題のひとつでもある。小さな町のため自死事例への偏見もあり、基金活用を機に広く啓発から始め、町民が命の大切さを語り合えるような町づくりをめざし自殺対策の取り組みを続けている。

【地域の特徴・自殺者数の動向】

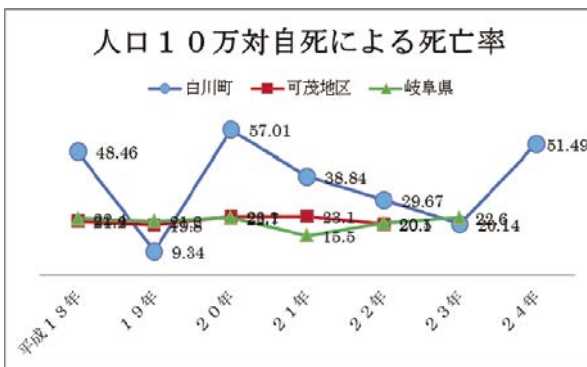
H25. 4. 1 現在

人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進んでいる。
人口に対して面積が広く、河川沿い又は谷谷いに集落が点在する。

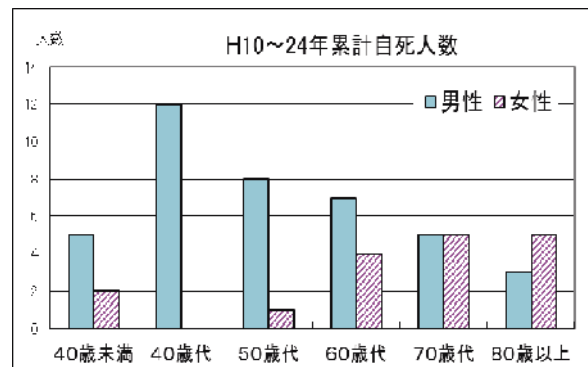
| 総人口 | 年齢区分別人口割合 (%) | | |
|---------|---------------|---------|--------|
| | 0～14 歳 | 15～64 歳 | 65 歳以上 |
| 9,573 人 | 10.0 | 52.8 | 37.2 |

年間自殺数は 1～6 人で推移。岐阜県や保健所管内と比較しても死亡率は高い傾向にある。

平成 10～24 年の 15 年間の累計では、男性は 40～50 歳代に多く、女性は 60 歳以上に多い。全死亡に占める割合は男性 3.9%、女性 1.9%と男性の死亡が多い。



(岐阜県衛生年報)



(白川町役場統計)

【事業目標 事業内容】

ゲートキーパー養成を目的に「傾聴講座」を平成 23 年度（3 回コース、25 人）、平成 24 年度（5 回コース、19 人）に開催。講座では傾聴の意義や技法の講義と実習を通して、命や人と人との繋がりの大切さを学ぶ。連続参加者もあり関心も高い講座となっている。平成 25 年度（5 回コース）募集には前年、前々年の参加者の応募だったことから、2 回のフォローアップ講座として実施することとした。講師は 3 年間共に岐阜いのちの電話に依頼。

【事業実施にあたっての運営体制】

自殺対策に関する協議会は設置していないため、健康づくり推進協議会、高齢者虐待予防連絡協議会、介護保険事業所職員及び民生委員連絡会議、民生委員協議会、役場グループ長会議等、関係者の集まる会議において事業説明を行い、理解と協力を求めている。

3 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する⑩

【事業の工夫点】

「こころと命を大切に●眠れていますか●お酒の量は増えていませんか●信頼できる相談先はありますか」のキャッチフレーズを平成 23 年度から用い、保健福祉課封筒に印刷、別途シールを作成し啓発物品等に貼付、精神関係の資料に印刷し、自殺対策に取り組んでいる事を広く町民にアピールする。

傾聴講座については、参加者へのアンケート結果から 2 3 年度 3 回コースであったものを次年度 5 回コースに増やし、丁寧に学べる体制を整えた。また連続参加者は関心の高いリーダー的な人材として拒まず、参加を受け入れる。

【事業成果、今後の課題、その他特筆すべき点】

<成果>

- ・平成 25 年度に、3 人の連続参加者から自主グループ化したいという声が上がった。そこで参加者と担当保健師との間で打合せを行い、25 年度 2 回目の講座終了後に「傾聴ボランティアの会」を作る方向が出される。
- ・上記活動に賛同する町民 12 人による「美濃白川傾聴ボランティア みみずくの会」が結成。25 年度中に 2 回の集会（町内関係機関職員からの情報提供・学習の機会を併設）を開催。

<今後の課題>

- ・今年度の活動として、高齢者福祉施設（特別養護ホーム、デイサービス）での傾聴ボランティアから開始した。
- ・自殺対策の分野として、今後、在宅の高齢者への家庭訪問型傾聴ボランティアへの発展を期待している。既に介護保険外のインフォーマルサービスのひとつとして、ケアマネージャーから高齢者の話し相手が欲しいというニーズがあり、そのような現状を地域包括支援センター職員から会員に伝えてある。
- ・しかし、無理に訪問型傾聴ボランティア活動を押しつけるのではなく、自主グループとして参加者の中から「やってみよう」と言う声上がるのを待つ時期であると考えている。
- ・今後、白川町内で高齢者生活機能評価に用いる「基本チェックリスト」の結果、うつ項目のチェックが多い地区があるので、モデル的に下記のような事業を平成 26 年度から実施できるよう体制を整えたい。体制整備の中には、ボランティア保険やトラブル対応、困難事例への保健師や福祉関係職員のフォロー体制も含まれる。

【高齢者うつ対策：おはなし聴きます事業（仮）】

- ①「基本チェックリスト」の結果、うつ傾向のチェックが多い地区から、対象者を抽出。
- ②町保健師、地域包括支援センター、雇用看護師にて、実態把握のための家庭訪問を実施。
- ③必要と思われる人に、家庭訪問型傾聴ボランティアを紹介。
- ④ボランティア訪問を希望する人と、関われるボランティアを結びつける。
- ⑤ボランティアで受け止められない困難な話題は、関係機関につなげる。

(問合せ先) 岐阜県 白川町役場 保健福祉課 保健係
TEL: 0574-72-2317
E-mail: hoken@town.shirakawa.lg.jp
URL: <http://www.town.shirakawa.lg.jp/forms/top/top.aspx>